

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ALP	アルカリフォスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ
BrdU	5-ブロモ-2'-デオキシウリジン
C _{max}	最高濃度
Hb	ヘモグロビン
Ht	ヘマトクリット
MCH	平均赤血球血色素量
MCHC	平均赤血球血色素濃度
MCV	平均赤血球容積
PB	フェノバルビタール・ナトリウム
PCNA	増殖性細胞核抗原
T _{1/2}	半減期
TAR	総処理放射能
TG	トリグリセリド
T _{max}	最高濃度到達時間
TRR	総残留放射能

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)	
					フルフェノクスロン	
					最高値	平均値
大豆 (露地) (乾燥子実) 1989年度	2	200	2	14	0.065	0.050
			2	21	0.043	0.033
大豆 (乾燥子実) 2002年度	2	37.5-50	2	7	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01
			2	21	<0.01	<0.01
未成熟ササゲ (実) 2003年度	2	50	2	1	0.3	0.2
			2	3	<0.1	<0.1
			2	7	<0.1	<0.1
未成熟 そらまめ (露地・施設) (子実) 1999年度	2	75-100	3	1	0.02	0.01*
			3	3	<0.01	0.01*
			3	7	<0.01	0.01*
そらまめ (露地) (乾燥子実) 1999年度	2	100	3	1	0.03	0.02*
			3	3	0.02	0.01*
			3	7	0.02	0.01*
未成熟ふじまめ (施設) (果実) 2004年度	2	50	2	1	0.3	0.2
			2	3	0.3	0.3
			2	7	0.1	0.1*
			2	14	<0.1	<0.1
てんさい (根) 1989年度	2	100	4	7	0.070	0.040
				14	0.062	0.030
大根 (根) 1995年度	2	100	2	13-14	0.02	0.01*
			2	20-21	0.01	0.01*
			2	29-30	0.01	0.01*
			3	13-14	0.02	0.01*
			3	20-21	0.02	0.02*
大根 (葉) 1995年度	2	100	2	29-30	0.02	0.01*
			2	13-14	2.06	1.12
			2	20-21	0.92	0.49
			2	29-30	0.57	0.25
			3	13-14	2.47	1.30
わさびだいこん (施設) (花蕾) 2005年度	2	30	3	21	0.07	0.05
			3	28	0.03	0.02
			3	45	0.01	0.01*
はくさい (茎葉) 1989年度 1990年度	2	50-100	1	7	0.059	0.041
	2		1	14	0.076	0.029
	2		1	21	0.003	0.004*
	8		2	7	0.193	0.068
	8		2	14	0.152	0.033
	2		2	21	0.012	0.006*
	6		4	7	0.240	0.161
	6		4	14	0.209	0.179

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)		
					フルフェノクスロン		
					最高値	平均値	
キャベツ (茎葉) 1989年度	2	50-100	2	7	0.061	0.045	
			2	13-14	0.040	0.024	
			4	7	0.054	0.040	
			4	13-14	0.052	0.034	
こまつな (施設) (茎葉) 1999年度	2	50	1	3	2.32	1.51	
			1	7	2.30	1.33	
			2	3	3.90	2.43	
			2	7	3.11	1.70	
みずな (施設・露地) 1997年度	2	100	1	7	3.32	1.89	
			1	10	1.66	1.23	
			1	14	1.12	0.78	
			2	7	3.24	2.29	
			2	10	2.33	1.72	
			2	14	1.61	0.94	
チンゲンサイ (施設) (茎葉) 1999年度	2	100-200	2	1	4.42	2.90	
			2	3	3.50	2.08	
			2	7	2.51	1.40	
ブロッコリー (花蕾)果実) 2004年度	2	100-150	2	7	1.59	0.72	
			2	14	0.99	0.52	
			2	21	0.49	0.24*	
シロナ (露地) (茎葉) 1997年度 1998年度	1 2 2 2	75	2	1	2.45	2.05	
			2	7	2.24	1.52	
			2	14	1.60	0.71	
			2	21	0.26	0.11	
しゅんぎく (施設) (茎葉) 1993年度	1 2 2 1 1 2 2 1	80-100	2	3	8.61	8.13	
			2	7	5.85	4.27	
			2	14	3.28	2.12	
			2	21	0.72	0.59	
			1	3	11.1	9.92	
			2	3	7.37	4.69	
			2	3	14	5.04	2.69
			1	3	21	0.61	0.51
レタス (施設) (茎葉) 1998年度	2	62.5-71.3	3	3	0.48	0.20	
			3	7	0.16	0.11	
			3	14	0.08	0.04	
リーフレタス (茎葉) 2003年度	1	50	4 ^a	3	2.36	2.26	
			4 ^a	7	0.87	0.81	
			4 ^a	14	<0.05	<0.05	
	1	50	3	3	1.24	1.14	
			3	7	0.07	0.06*	
			3	14	0.06	0.06*	
サラダ菜 (茎葉) 2004年度	2	37.5-50	3	3	3.7	2.22	
			3	7	1.7	1.32	
			3	14	0.6	0.38	
葉ねぎ (茎葉) 1995年度	2	37.5	2	14	0.91	0.49	
			2	21	0.71	0.30*	
			3	14	1.54	0.74	
			3	21	0.98	0.43	
深ねぎ (茎葉) 1989年度	2	100	4	7	1.53	0.99	
			4	14	1.06	0.60	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)	
					フルフェノクスロン	
					最高値	平均値
アスパラガス (施設) (茎) 1996年度	2	70-75	2	1	0.15	0.13
			2	3	0.01	0.01*
			2	7	0.01	0.01*
			2	14	<0.01	0.01*
パセリ (施設) (茎葉) 2001年度	2	50-62.5	1	7	4.84	3.85
			1	14	4.63	2.90
			1	21	4.53	2.94
セロリ (茎) 1994年度	2	75-90	2	14	0.76	0.42
			2	21-22	0.34	0.21
			3	14	1.00	0.53
			3	21-22	0.22	0.12
セロリ (葉) 1994年度	2	75-90	2	14	5.88	3.56
			2	21-22	5.58	2.31
			3	14	8.17	4.70
			3	21-22	2.79	1.32
セロリ (茎葉) 1994年度	2	75-90	2	14	2.24	1.33
			2	21-22	1.65	0.76
			3	14	3.22	1.78
			3	21-22	1.15	0.51
みつば (施設・水耕) (茎葉) 2000年度	2	75	2	7	5.94	4.23
			2	14	5.67	3.76
			2	21	4.12	2.58
トマト (施設) (果実) 1994年度	2	100-150	2	1	0.08	0.08
			3	1	0.14	0.10
			3	3	0.11	0.09
			3	7	0.15	0.10
			4	1	0.15	0.12
ミニトマト (施設) (果実) 2004年度	2	100-150	2	1	0.18	0.12
			2	3	0.19	0.13
			2	7	0.19	0.13
ピーマン (施設) (果実) 1999年度	2	100-125	3	1	0.51	0.41
			3	3	0.43	0.33
			3	7	0.45	0.30
なす (施設) (果実) 1996年度	2	200-250	4	1	0.74	0.42
			4	3	0.57	0.33
			4	7	0.20	0.13
ししとう (施設) (果実) 2004年度	2	153.5-175	3	1	0.92	0.60
			3	3	1.15	0.66
			3	7	0.59	0.32
きゅうり (施設) (果実) 1997年度	2	92.5-150	4	1	0.14	0.13
			4	3	0.11	0.09
			4	7	0.04	0.03

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)	
					フルフェノクスロン	
					最高値	平均値
かぼちゃ (施設) (果実) 2004年度	1	85	3	1	<0.2	0.12*
			3	8	<0.2	0.12*
			3	15	<0.2	0.11*
	1	75	4	1	<0.2	0.11*
			4	3	<0.2	0.11*
			4	7	<0.2	0.11*
しろうり (果実) 2003年度	2	100	1	1	<0.05	<0.05
			1	3	<0.05	<0.05
			1	7	<0.05	<0.05
すいか (施設) (果実) 1996年度	2	125-150	4	7	0.02	0.01*
			4	14	0.03	0.02*
			4	21	0.03	0.02*
メロン (施設) (果実) 1990年度	2	150	3	7	0.002	0.004*
				14	0.002	0.004*
ほうれんそう (施設・露地) (茎葉) 2000年度	2	37.5-75	3	3	4.60	3.63
			3	7	3.21	2.80
			3	14	1.50	1.02
未成熟 えんどう (施設) (さや) 2001年度	2	73.5-75	2	1	0.37	0.32
			2	3	0.21	0.19
			2	7	0.18	0.16
未成熟 インゲン (施設) (さや) 2000年度	2	75-150	2	1	0.48	0.42
			2	7	0.29	0.17
			2	14	0.19	0.09*
えだまめ (未成熟大豆) (さや) 2002年度	2	50-62.5	2	1	1.93	1.27
			2	7	1.54	1.10
			2	14	0.85	0.66
みょうが (施設) (花蕾) 2004年度	2	150	3	1	<0.04	<0.04
			3	3	<0.04	<0.04
			3	7	<0.04	<0.04
温州みかん (施設) (果肉) 1989年度	2	500	2	7	0.026	0.008*
				14	0.020	0.009*
温州みかん (施設) (果皮) 1989年度	2	500	2	7	3.21	2.08
				14	4.18	2.27
温州みかん (施設) (果実全体) 1989年度	2	500	2	7 14	0.499 0.630	0.341 0.352

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)	
					フルフェノクスロン	
					最高値	平均値
夏みかん (果肉) 1989年度	2	500-900	2	7	0.039	0.019*
				14	0.058	0.022*
夏みかん (果皮) 1989年度	2	500-900	2	7	1.29	1.15
				14	1.35	1.09
すだち (露地) (果実) 2004年度	1	500	2	6	0.69	0.68
			2	14	0.60	0.60
			2	21	0.41	0.41
かぼす (露地) (果実) 2004年	1	640	2	7	0.38	0.38
			2	14	0.26	0.26
			2	20	0.27	0.26
りんご (果実) 1989年度 1990年度	5	200-300	1	13-14	0.190	0.133
			1	20-21	0.187	0.108
			1	28-30	0.198	0.099
			1	45	0.121	0.084
			1	60	0.117	0.068
			1	90	0.073	0.040*
			2	13-14	0.267	0.211
			2	20-21	0.224	0.177
			2	28-30	0.349	0.230
			2	45	0.192	0.127
なし (果実) 1990年度	2	120-250	1	14	0.079	0.048
			1	21	0.070	0.050
			1	30	0.053	0.041
			2	14	0.145	0.099
			2	21	0.092	0.075
			2	30	0.110	0.079
もも (露地) (果肉) 1990年度	2	150-200	1	14	<0.01	<0.008
			1	21	<0.01	<0.008
			2	14	0.006	0.008*
			2	21	<0.01	<0.008
ネクタリン (露地) (果実) 2003年度	2	135-150	2	14	0.59	0.37
			2	21	0.23	0.18
			2	28	0.19	0.16
おうとう (施設) (果実) 1995年度	2	75-100	1	7	0.56	0.27
			1	14	0.46	0.25
			2	7	0.67	0.35
			2	14	0.60	0.34
いちご (施設) (果実) 1995年度	2	37.5	2	1	0.09	0.06
			3	1	0.14	0.07
			3	3	0.10	0.06
			3	7	0.07	0.04
茶 (露地) (荒茶) 1990年度	2	100	1	7	7.78	7.02
			1	14	5.66	4.78
			2	7	7.98	7.36
			2	14	6.86	4.95

作物名 (栽培形態) (分析部位) 実施年度	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI 経過日数 (日)	残留値(mg/kg)	
					フルフェノクスロン	
					最高値	平均値
茶 (露地) (抽出液) 1990年度	2	100	1	7	0.10	0.06
			1	14	0.05	0.04
			2	7	0.07	0.06
			2	14	0.05	0.03

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数

a : 散布終了約20分後に降雨があったため翌日再散布した。

・散布には乳剤を使用した。

・一部に検出限界以下を含むデータの平均を計算する場合は検出限界値を検出したものとして計算し、*印を付した。

・全てのデータが検出限界以下の場合は検出限界値の平均に<を付して記載した。

<別紙 4: 推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重: 53.3 kg)		小児 (1~6歳) (体重: 15.8 kg)		妊婦 (体重: 55.6 kg)		高齢者 (65歳以上) (体重: 54.2 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)
小豆類	0.2	1.4	0.28	0.5	0.1	0.1	0.02	2.7	0.54
ソラマメ	0.02	0.2	0.004	0.1	0.002	0.1	0.002	0.4	0.008
てんさい	0.04	4.5	0.18	3.7	0.15	3.4	0.14	4	0.16
だいこん 類(根)	0.02	45	0.9	18.7	0.37	28.7	0.57	58.5	1.17
だいこん 類(葉)	1.3	2.2	2.86	0.5	0.65	0.9	1.17	3.4	4.42
わさび だいこん	0.01	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
はくさい	0.033	29.4	0.97	10.3	0.34	21.9	0.72	29.9	0.99
キャベツ	0.024	22.8	0.55	9.8	0.24	22.9	0.55	23.1	0.55
こまつな	1.7	4.3	7.31	2.0	3.40	1.60	2.72	4.3	7.31
みずな	2.29	0.3	0.69	0.1	0.23	0.1	0.23	0.3	0.69
チンゲン サイ	1.4	1.40	1.96	0.3	0.42	1	1.40	1.9	2.66
ブロッコ リー	0.72	4.5	3.24	2.8	2.02	4.7	3.38	4.1	2.95
シロナ	1.52	2.1	3.19	0.3	0.46	0.2	0.30	3.1	4.71
しゅんぎ く	4.27	2.5	10.7	0.6	2.56	1.9	8.11	3.7	15.8
レタス	2.22	6.1	13.54	2.5	5.55	6.4	14.21	4.2	9.32
ねぎ	0.74	11.3	8.36	4.5	3.33	8.2	6.07	11.5	8.51
アスパラ ガス	0.13	0.9	0.12	0.3	0.04	0.4	0.05	0.9	0.12
パセリ	3.85	0.1	0.39	0.1	0.39	0.1	0.39	0.1	0.39
セロリ	1.78	0.4	0.71	0.1	0.18	0.3	0.53	0.4	0.71
みつば	4.23	0.2	0.85	0.1	0.42	0.1	0.42	0.2	0.85
トマト	0.13	24.3	3.16	16.9	2.20	24.5	3.19	18.9	2.46
ピーマン	0.41	4.4	1.80	2	0.82	1.9	0.78	3.7	1.51
ナス	0.42	4	1.68	0.9	0.38	3.3	1.39	5.7	2.39
ししとう	0.66	0.2	0.13	0.1	0.07	0.1	0.07	0.3	0.20
きゅうり	0.13	16.3	2.12	8.2	1.07	10.1	1.31	16.6	2.16
かぼちゃ	0.12	9.4	1.13	5.8	0.70	6.9	0.83	11.5	1.38
スイカ	0.02	0.1	0.002	0.1	0.002	0.1	0.002	0.1	0.002
メロン	0.004	0.4	0.002	0.3	0.001	0.1	0.0004	0.3	0.001
ほうれん そう	3.63	18.7	67.9	10.1	36.7	17.4	63.2	21.7	78.8
未成熟 えんどう	0.32	0.6	0.19	0.2	0.06	0.7	0.22	0.6	0.19

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児（1~6歳） (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者（65歳以上） (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (µg/人/日)
未成熟 インゲン	0.42	1.9	0.80	1.2	0.50	1.8	0.76	1.8	0.76
えだまめ	1.1	0.1	0.11	0.1	0.11	0.1	0.11	0.1	0.11
未成熟 ふじまめ	0.3	12.6	3.78	9.7	2.91	9.6	2.88	12.2	3.66
みかん	0.009	41.6	0.37	35.4	0.32	45.8	0.41	42.6	0.38
なつみか ん (果肉)	0.022	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00
なつみか んの皮	1.15	0.1	0.12	0.1	0.12	0.1	0.12	0.1	0.12
その他の かんきつ	0.6	0.4	0.24	0.1	0.06	0.1	0.06	0.6	0.36
りんご	0.230	35.3	8.12	36.2	8.33	30	6.90	35.6	8.19
日本なし	0.099	5.1	0.50	4.4	0.44	5.3	0.52	5.1	0.50
もも	0.008	0.5	0.004	0.7	0.006	4	0.032	0.1	0.0008
ネクタリ ン	0.18	0.1	0.018	0.1	0.018	0.1	0.018	0.1	0.018
おうとう	0.35	0.1	0.035	0.1	0.035	0.1	0.035	0.1	0.035
イチゴ	0.07	0.3	0.021	0.4	0.028	0.1	0.007	0.3	0.021
茶	7.36	3	22.1	1.4	10.3	3.5	25.8	4.3	31.6
みかんの 皮	2.27	0.1	0.23	0.1	0.23	0.1	0.23	0.1	0.23
合計			171.3		86.2		149.8		201.1

注) ・残留値は、登録又は申請されている使用時期・使用回数による各試験区の平均残留値のうちフルフェノクスロンの最大値を用いた(参照 別紙 3)。

- ・「ff」：平成10年～12年の国民栄養調査(参照 39～41)の結果に基づく農産物摂取量(g/人/日)
- ・「摂取量」：残留値及び農産物残留量から求めたフルフェノクスロンの推定摂取量(µg/人/日)
- ・大豆、しろわり、みょうがについては、全データが検出限界以下であったため摂取量の計算はしていない。

< 参照 >

- 1 農薬要覧：日本植物防疫協会、2003年
- 2 農薬抄録フルフェノクスロン（殺菌剤）：BASF アグロ株式会社、2006年、未公表
- 3 ラットを用いた高用量（350mg/kg）1回投与における代謝試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1987年、未公表
- 4 ラットを用いた低用量（3.5mg/kg）1回投与における代謝試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1988年、未公表
- 5 ラットを用いた低用量（3.5mg/kg）28回連続投与における代謝試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1988年、1989年、未公表
- 6 イヌを用いた低用量（3.5mg/kg）1回投与における代謝試験：ハンティンドン・リサーチ・センター（英）、1988年、未公表
- 7 ラットを用いた低用量（3.5mg/kg）及び高用量（350mg/kg）1回投与における代謝試験：ハンティンドン・リサーチ・センター（英）、1992年、未公表
- 8 フルフェノクスロン 要望事項に関する回答書：BASF アグロ株式会社、2004年、未公表
- 9 ラットを用いた低用量（3.5mg/kg）1回投与における胆汁排泄試験：ハンティンドン・リサーチ・センター（英）、1992年、未公表
- 10 マウス雌雄、ラット雄、イヌ雄の肝細胞画分における *in vitro* 代謝試験：残留農薬研究所、1993年、未公表
- 11 ¹⁴C、¹⁵N-フルフェノクスロンを用いたはくさい及びトマトにおける代謝試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1987年、未公表
- 12 ¹⁴C-フルフェノクスロンを用いたりんごにおける代謝試験：Inversk Reserch International（英）、1991年、未公表
- 13 ¹⁴C-フルフェノクスロンを用いた土壌中（好氣的条件）での分解試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1988年、未公表
- 14 土壌中での分解－好氣的条件と嫌氣的条件の比較試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1990年、未公表
- 15 土壌吸着スクリーニング試験－予備試験としての溶解性試験：（財）日本食品分析センター、1991年、未公表
- 16 土壌及び沈泥における吸着及び脱着：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1988年、未公表
- 17 土壌中での移行性：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1987年、未公表
- 18 ¹⁴C-フルフェノクスロンを用いた非抽出残留成分からのCO₂の放出及び植物への移行（根からの吸収）試験：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1989年、未公表
- 19 非標識フルフェノクスロンを用いた植物への移行試験：シェル化学（株）農薬開発センター、1991年、未公表
- 20 易生物分解性の評価：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1986年、未公表
- 21 緩衝液中での加水分解性：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1987年、未公表
- 22 滅菌精製水及び自然水中における光分解運命（GLP 対応）：RCC（瑞西）、2001年、未公表
- 23 自然光下における水中光分解：シッピングボーン・リサーチ・センター（英）、1987年、未公表

- 24 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：(財)日本食品分析センター、1990年、未公表
- 25 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：シェル化学(株)農薬開発センター、1990年、未公表
- 26 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：(株)化学分析コンサルタント、1990年、未公表
- 27 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：(財)残留農薬研究所、2003年、未公表
- 28 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：日本サイアナミッド(株)、1998年、未公表
- 29 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：東京農業試験場、1999年、未公表
- 30 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：BASF アグロ(株)、2002年、未公表
- 31 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：京都府農業総合研究所、1997年、未公表
- 32 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：奈良県農業試験場、1998年、未公表
- 33 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：大阪府立農林技術センター、2000年、未公表
- 34 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：愛知県農業総合試験場、2000年、未公表
- 35 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：徳島県立農林水産総合技術センター農業研究所、2001年、未公表
- 36 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：香川県農業試験場、2001年、未公表
- 37 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：(株)日曹分析センター、2003年、未公表
- 38 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：岐阜県農業技術研究所、2003年、未公表
- 39 国民栄養の現状－平成10年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2000年
- 40 国民栄養の現状－平成11年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2001年
- 41 国民栄養の現状－平成12年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2002年
- 42 フルフェノクスロンの土壌残留試験：シェル化学(株)、1990年、未公表
- 43 原体のラットにおける急性経口毒性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1989年、未公表
- 44 原体のラットにおける急性経口及び経皮毒性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1986年、未公表
- 45 原体のマウスにおける急性経口毒性試験(GLP)：ハンティンドン・リサーチ・センター(英)、1990年、未公表
- 46 原体のマウスにおける急性経口及び経皮毒性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1986年、未公表
- 47 原体のイヌにおける急性経口毒性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1986年、未公表
- 48 ラットにおける急性吸入毒性試験(GLP)：インバレスク・リサーチ・インターナショナル(英)、1986年、未公表
- 49 マウスにおける急性経口毒性試験(原体混在物及び代謝物)(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1990年、未公表
- 50 ウサギを用いた原体の皮膚一次刺激性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1986年、未公表
- 51 ウサギを用いた原体の眼粘膜一次刺激性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター(英)、1986年、未公表
- 52 原体のモルモットを用いた皮膚感作性試験(GLP)：シッティングボーン・リサーチ・センター

- (英)、1986年、未公表
- 53 ラットを用いた混餌投与による亜急性毒性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1987年、未公表
- 54 マウスを用いた混餌投与による亜急性毒性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1987年、未公表
- 55 イヌを用いた 13 週間混餌投与試験 (GLP) : インバレスク・リサーチ・インターナショナル (英)、1987年、未公表
- 56 Wistar 系ラットにおける 28 日間反復投与経口神経毒性試験 (GLP) : BASF 毒性研究所 (独)、2003年、未公表
- 57 イヌを用いた混餌投与による 52 週間慢性毒性試験 (GLP) : インバレスク・リサーチ・インターナショナル (英)、シッティングボーン・リサーチ・センター (英) (病理組織学的検査)、1989年、未公表
- 58 ラットを用いた混餌投与による慢性毒性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1990年、未公表
- 59 ラットを用いた混餌投与による発がん性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、ELP サイエントフィック・リミテッド (英) (病理組織学的検査)、1990年、未公表
- 60 マウスを用いた混餌投与による発がん性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、ハンティンドン・リサーチ・センター (英) (血液学的検査)、J.P.Finn (英) (病理組織学的検査)、1990年、未公表
- 61 マウスを用いた発がん性試験の肝病理組織標本 (雄) の Peer Review : 食品農医薬品安全性評価センター、1992年、未公表
- 62 マウスを用いた混餌投与による発がん性試験② (GLP) : ハンティンドン・ライフサイエンス社 (英)、1996年、未公表
- 63 ラットを用いた繁殖試験 (GLP) : ハンティンドン・リサーチ・センター (英)、1990年、未公表
- 64 ラットにおける催奇形性試験 (GLP) : インバレスク・リサーチ・インターナショナル (英)、1991年、未公表
- 65 ウサギにおける催奇形性試験 (GLP) : インバレスク・リサーチ・インターナショナル (英)、1991年、未公表
- 66 細菌を用いた復帰変異誘発性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1986年、未公表
- 67 酵母を用いた遺伝子変換誘発性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1986年、未公表
- 68 チャイニーズ・ハムスターの肺培養細胞 (V79) を用いた前進突発変異誘発性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1986年、未公表
- 69 チャイニーズ・ハムスターの卵巣培養細胞 (CHO-K1) を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験・その 1 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1987年、未公表
- 70 チャイニーズ・ハムスターの卵巣培養細胞 (CHO-K1) を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験・その 2 グルタチオンを添加した場合 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、

1988年、未公表

- 71 ラットの肝培養細胞 (RL-4) を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1988年、未公表
- 72 ラットの骨髄細胞を用いた *in vivo* 染色体異常試験 (GLP) : ハンティンドン・リサーチ・センター (英)、1986年、未公表
- 73 マウスを用いた腹腔内投与による小核試験 (GLP) : 三菱化学安全科学研究所、1992年、未公表
- 74 ヒト培養リンパ球を用いた *in vitro* 染色体異常誘発性試験 (GLP) : ヘーゼルトン・マイクロテスト (英)、1992年、未公表
- 75 ラット肝細胞における *in vivo/in vitro* 不定期 DNA 合成 (UDS) 試験 (GLP) : ヘーゼルトン・ラボラトリーズ・アメリカケンジントン研究所 (米)、1991年、未公表
- 76 ラットを用いた肝・複製 DNA 合成 (RDS) 試験 : 三菱化成安全科学研究所、1992年、未公表
- 77 細菌を用いた復帰変異誘発性試験 (GLP) : シッティングボーン・リサーチ・センター (英)、1990年、未公表
- 78 アニリン体 [WL115096] のチャイニーズ・ハムスターの卵巣培養細胞 (CHO-K1) を用いた *in vitro* 染色体異常誘発試験
- 79 マウス肝薬物代謝酵素活性に及ぼす影響 : BIBRA トキシコロジーインターナショナル (英)、1992年、未公表
- 80 マウスを用いた前腫瘍性および腫瘍性変化を指標する PCNA、BrdU 法の適用試験 : (財) 食品農医薬品安全性評価センター、1993年、未公表
- 81 細菌を用いた復帰突然変異原性試験 (GLP) : BASF 毒性研究所 (独)、2005年、未公表
- 82 哺乳動物における薬理試験 : リサーチアンドコンサルティング・カンパニー (スイス)、1991年、未公表
- 83 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 57 回会合資料 1-1
(URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai57/dai57kai-siryou1-1.pdf>)
- 84 「チアメトキサム」及び「フルフェノクスロン」の食品衛生法 (昭和 22 年法律第 233 号) 第 11 条第 1 項の規定に基づく、食品中の残留基準設定に係る食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 57 回会合資料 1-2
(URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai57/dai57kai-siryou1-2.pdf>)
- 85 食品安全委員会農薬専門調査会第 16 回会合
(URL; <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai16/index.html>)
- 86 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号)
- 87 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-1-b
(URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryou1-1-b.pdf>)
- 88 暫定基準を設定した農薬等に係る食品安全基本法第 24 条第 2 項の規定に基づく食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-4
(URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryou1-4.pdf>)
- 89 フルフェノクスロンの食品健康影響に係る追加提出資料 : BASF アグロ株式会社、2006年、未公表

- 90 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：（財）残留農薬研究所、2003年、2004年、未公表
- 91 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：BASF アグロ（株）、2003年、2004年、未公表
- 92 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：高知県農業技術センター、2004年、未公表
- 93 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：（株）エコプロ・リサーチ、2005年、未公表
- 94 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：（株）化学分析コンサルタント、2004年、未公表
- 95 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：宮崎県総合農業試験場、2004年、未公表
- 96 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：（株）日曹分析センター、2004年、未公表
- 97 フルフェノクスロンの作物残留試験成績：（株）日本食品分析センター、2003年、未公表
- 98 食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会第6回会合
(URL; http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai6/index.html)
- 99 食品安全委員会農薬専門調査会幹事会第8回会合
(URL; http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai8/index.html)
- 100 食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会第7回会合
(URL; http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai7/index.html)
- 101 食品安全委員会農薬専門調査会幹事会第10回会合
(URL; http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai10/index.html)

